

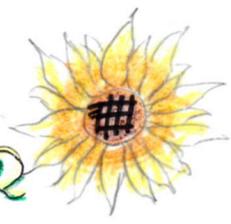
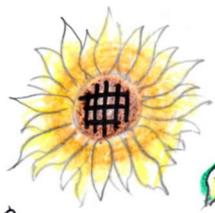
令和4年度 島田平和祈念事業高校生委員企画制作 島田空襲を学ぶ「平和クイズ」



令和4年度島田市平和祈念事業高校生委員では、市民を始め若い世代へ向けて、戦争の記憶と平和の尊さを語り継ぐため企画「平和クイズ」を制作しました。私達が住むこの島田市においても「島田空襲」という被害があり、語り継がねばならない戦争の記憶があります。この平和クイズを通して「島田空襲」を知っていただき、戦争はいけないことであり、平和の大切さを感じていただければと思います。ぜひこの「平和クイズ」に挑戦してみてください。

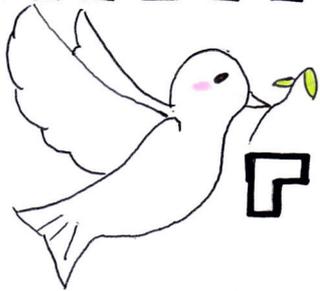
令和4年度島田市平和祈念事業高校生委員一同

クイズ



- Q1. 島田空襲^{くわしや}で投下された模擬爆弾^{モギバくだん}の名前は？
 A. ○○○○○^⑥ 爆弾
- Q2. 島田空襲はどこからの空襲か？
 A. ○○○○^{②③}
- Q3. Q1の爆弾は長崎に投下された原子爆弾○○○○○○○の模擬爆弾とされています。その名称は？
 A. ファッ○○○^④
- Q4. Q1の爆弾は当初富山市に落とされる予定でした。なぜ島田市に変更したか、その理由は？
 A. てん○○○ふりゅう^{⑦⑤}
- Q5. 毎年7月26日に島田空襲の被爆者の慰霊と平和を祈念することを目的としたつどいを開催します。そのつどいの名称は？
 A. しまだくう○○○
 ○○○しや○○○^⑨
 ○つどい
- Q6. Q5が行なわれる場所は？
 A. ○○○○○○公園
- Q7. 島田市平和都市宣言よりお互いを認め合い、○○○○○、分かち合える社会を実現し～○に入る言葉は何か？
 A. た○○○^①
- Q8. 扇町公園の近くにある石柱に、島田空襲による被爆の跡が今でも残っています。その石柱があるお寺の名前は？
 A. ○○○○○○^⑧

答えの番号をならべると、島田市平和都市宣言の文になるよ♪



『あなたがいてくれて

① ② ③ ④ ⑤

上級者向け!!

『人を傷つけ にする は
 いらない』

【島田空襲って何だろう？】

太平洋戦争は 1941年12月7日に始まり、1944年6月にはアメリカ軍のB-29爆撃機による日本本土に対する爆撃が開始されました。

1945年7月26日、島田町(現島田市)上空(現在の扇町公園付近)に爆弾が落とされ、犠牲者 47 名、負傷者 150 名余りという多くの方が犠牲になりました。爆心地は直径約10m、深さ約30cm、被害範囲は周辺1km以上であり、爆風によって多くの家が吹き飛ばされました。これが島田空襲です。

距離・長さのイメージ

10m = 電柱 1 本分の長さ

1km = 島田市役所から島田球場までの距離



島田に落とされたパンプキン爆弾のレプリカ▶

この島田空襲で落とされた爆弾は、長崎市に落とされた原子爆弾(ファットマン)の模擬爆弾であり、サイズも重量もほぼ同じのものでした。

そしてこの爆弾は、通称パンプキン爆弾と呼ばれています。

パンプキン爆弾は島田市に落とされましたが、実はアメリカ軍は当初、富山県内の工場を第一目標投下地としていました。しかし、天候不良により爆弾を落とすことが難しかったため、第二目標になっていた島田へ模擬爆弾を落としたのです。



【平和を語り継ぐための現在の活動】



戦争の記憶と平和の尊さを語り継ぐため、毎年7月26日に扇町公園にて「島田空襲慰霊のつどい」、8月15日には「島田市平和祈念式典」を行っています。

つどいでは、島田第二小学校の児童により「平和への誓い」を述べていただいています。

式典では、黙とう・献花・平和都市宣言の朗読などを行っています。

また、島田市では、すべての市民が安らかで穏やかな生活を営み、心の底から幸福を実感する真の平和都市の実現に向け、平成 26 年に島田市平和都市宣言を制定しました。(裏面にあります)

▼島田空襲被爆者慰霊のつどい



▼平和祈念式典



しまだしへいわとしせんげん
島田市平和都市宣言

「おはよう」

「おはようございます 今日(きょう)はいいお天気(てんき)ですね」

「いってきます」

「いってらっしゃい 気(き)をつけてね」

なに 何げないあいさつを か 交わしあえるよろこび
それは へいわ 平和という宝(たから)もの

でも それは 争(あらそ)いや災(さい)害(がい)など
おおくの苦(くる)しみや悲(かな)しみを乗り越(こ)えた
つよ 強(たか)さや優(やさ)しさによって
きず 築(た)きあげ 守(まも)られてきたもの

いま 現在(いま)を生きる私(わたし)たちに たく 託(たく)されたことは
すべての人(ひと)に とわ 永遠(とわ)の平和(へいわ)が訪(おとず)れるよう
おたが 互(たが)いを認(み)め合い 助け(たす)合い
わかちあ 合(あ)える社(しゃ)会(かい)を現(じつげん)現(げん)し
つぎ 次(つぎ)の世(せ)代(だい)へつないでいくこと

わたし 私(わたし)たちは呼(よ)びかけます
「今日(きょう)より明日(あす)をいい日(ひ)にしよう」
「いのち 命(いのち)の尊(とうと)さを伝(つた)えよう」
「あなたがいてくれてありがとう」
そして すべてのもの(もの)に「ありがとう」

わたし 私(わたし)たちは叫(さけ)びます
「人を傷(きず)つけ不幸(ふこう)にするもの(もの)はいらない」
「れきし 史(れきし)が培(つちか)った大(たい)切(せつ)な財(ざい)産(さん)を け 消(け)し去(さ)ることは許(ゆる)さない」

わたし 私(わたし)たちは宣(せん)言(げん)します
おお 大(おお)井(い)川(がわ)の清(せい)流(りゅう)に育(はぐ)まれた みどり 緑(みどり)ゆたかなしまだし 島(しま)田(だ)市(し)が
へいわ 平和(へいわ)を願(ねが)う せ 世(せ)界(かい)中(ちゅう)の人(ひと)たちとともに
えがお 笑(えがお)顔(がほ)の絶(た)えない あか 明(あか)るい未(み)来(らい)をめざして
あゆ 歩(あゆ)みつづける へいわ 平和(へいわ)と 市(し)であること(こと)を

